

ごあいさつ



山口県高等学校体育連盟

会長 末永 和文

第77回山口県高等学校総合体育大会が、5月30日から6月1日までの3日間を中心に、柳井学園高等学校2年 村田 梨華さんの作品「走り出せ 仲間と共にその先へ」のスローガンの下、盛大に開催できますことを大変うれしく思います。

この大会は、31競技に県下73校、約7,700人の高校生が覇権をかけて競う、山口県最大の高校スポーツの祭典です。大会の勝者の多くが高校生アスリートの夢舞台でもあるインターハイへの出場権を得るものであり、この大会を目標に各選手・チームは、これまで練習を重ね、競技力を高めてきたと思います。選手の皆さんが、これまでの練習の成果を十分に発揮されることを願うとともに、一人ひとりが高校生らしい、はつらつとしたプレーを展開し、精一杯の青春を感じてもらいたいと思います。

さて、昨年度開催された「開け未来の扉 中国総体 2025」は、中国5県を中心に実施され、特に山口県で行われた6競技では大きな盛り上がりを見せました。満員の観客による温かい声援は選手たちを力強く後押しし、全力で競技に臨む姿は高校スポーツの価値と魅力、勇気と感動を全国の皆様に届けました。高校生活活動推進委員によるSNSを活用した積極的なPRや、約2,600名の応援サポーターの支えが大会機運の醸成に貢献しました。大会に関わった全ての高校生は「する・みる・ささえる」という多面的なスポーツ体験を通して、協力や責任感、他者への敬意など多くの学びを得ることができた素晴らしい大会となりました。

これから県内各会場で、インターハイ出場をかけて熱戦が繰り広げられます。7月23日から近畿ブロック滋賀県を中心に、「夢への躍進 青春の夏 近畿総体2026」において、山口県の高校生が躍動し、その活躍に寄せられる大きな声援が会場に響き渡ることを、心より期待しております。

結びになりますが、本年度も共催をいただきました山口新聞社様をはじめ、大会の開催に御尽力いただいたすべての関係者の皆様に対し、心から感謝申し上げます、あいさつといたします。